



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社 サニックス  
コード番号 4651 URL <http://sanix.jp>

上場取引所 東 大 福

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宗政 伸一  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 富永 敏之

TEL 092-436-8870

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,452	5.8	266	△76.4	237	△78.2	△0	—
23年3月期第2四半期	14,609	21.2	1,132	512.1	1,090	715.1	806	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 3百万円 (△99.6%) 23年3月期第2四半期 795百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.00	—
23年3月期第2四半期	16.90	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	19,904		7,105		35.6
23年3月期	20,406		7,102		34.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,076百万円 23年3月期 7,072百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	
24年3月期	—	0.00	—	—	—	
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	31.1	1,300	159.0	1,250	190.7	830	—	17.40

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	48,919,396 株	23年3月期	48,919,396 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,209,971 株	23年3月期	1,210,021 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	47,709,418 株	23年3月期2Q	47,709,432 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
部門別連結売上高 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災により寸断されたサプライチェーンの復旧とともに持ち直しの動きが見られるようになってきました。しかしながら、電力不足の問題やギリシャの債務不履行の恐れから端を発した欧州の景気減速懸念に加えて、円高の進行等、依然として不透明な状況となっております。

このような経営環境の中で、当社グループは、エコビジネスのリーディングカンパニーとして、コンプライアンス体制の強化や顧客本位の営業活動を推し進めるとともに、生産性の向上に注力し業績回復を図ってまいりました。また、次世代エネルギーのひとつのビジネスモデルとして、クリーンエネルギーである太陽光発電システムの販売、並びに廃プラスチックを燃料として再生利用したリサイクルエネルギー発電を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、H S（ホーム・サニテーション）事業部門、E S（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門、環境資源開発事業部門ともに前年同期比増収となり、グループ全体の売上高は15,452百万円（前年同期比5.8%増）となりました。費用面では、サニックスエナジー苫小牧発電所において定期修繕並びに設備法定点検を実施し、設備更新の実施に伴い前年同期を超える修繕費を計上したことに加え、原価率の高い「太陽光発電システム」の売上比率が高まったことにより、売上原価が前年同期比18.2%増となりました。

この結果、グループ全体の営業利益は266百万円（前年同期比76.4%減）、経常利益は237百万円（前年同期比78.2%減）、四半期純損失は0百万円（前年同期は806百万円の四半期純利益）となりました。

当第2四半期連結累計期間の事業部門ごとの状況は次のとおりであります。

#### ①H S（ホーム・サニテーション）事業部門

当第2四半期連結累計期間においては、「白蟻防除施工」は前年同期比8.4%減、「床下・天井裏換気システム」は前年同期に販売キャンペーンを実施した反動もあり前年同期比30.9%減となり、「基礎補修・補強工事」は顧客への提案が一巡したこともあり前年同期比36.5%減となりました。しかしながら、主力商品である戸建て住宅向け「太陽光発電システム」は堅調に推移し前年同期比102.0%増となったことにより、売上高は8,868百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

営業損益は、既存商品に比べ原価率の高い「太陽光発電システム」の売上比率が高まったことにより、営業利益は1,639百万円（前年同期比27.5%減）となり、売上高対営業利益率は18.5%（前年同期は26.0%）となりました。

#### ②E S（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門

ビル・マンションの不動産管理会社等の法人営業による既存のビル・マンション維持管理サービスの販売に加えて、集合住宅を対象とした「太陽光発電システム」の販売にも注力してまいりました。

既存のビル・マンション維持管理サービスについては例年に比べ伸び悩んだものの、集合住宅向け「太陽光発電システム」が加味されたことにより、売上高は1,341百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

営業損益は、既存商品に比べ原価率の高い「太陽光発電システム」の売上比率が高まったことにより、営業損失は12百万円（前年同期は117百万円の営業利益）となりました。

#### ③環境資源開発事業部門

「廃プラ加工処理」は、取引先件数と搬入量が堅調に増加し前年同期比17.1%増となりました。「売電収入」は、サニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）において、6月の定期修繕以降は燃料プラスチックの品質向上もあり安定操業による発電量が増加し前年同期比16.1%増となりました。「有機廃液処理」は、搬入量が堅調に増加し前年同期比18.4%増となりました。

この結果、当事業部門の売上高は5,243百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

営業損益は、生産性の向上とコスト削減に注力したものの、サニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）において、平成23年6月の定期修繕時設備更新時に前年同期を超える修繕費を計上したことにより、営業損失は270百万円（前年同期は188百万円の営業損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,904百万円となり、前連結会計年度末比502百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少並びに減価償却費の計上による固定資産の減少によるものであります。負債合計は12,798百万円となり、同505百万円減少しました。主な要因は、借入金の返済を進めたことによるものであります。純資産合計は7,105百万円となり、同2百万円増加しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したためであります。その結果、自己資本比率については前連結会計年度末34.7%に対し、当第2四半期連結会計期間末は35.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は962百万円となり、前連結会計年度末に比べて176百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,005百万円の収入(前年同期比191百万円収入の増加)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益は、前年同期比で減少したものの、仕入債務の増加額232百万円(前年同期は283百万円の減少)、その他に含まれるその他流動負債の増加額456百万円(前年同期は293百万円の増加)があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、65百万円の支出(前年同期比33百万円支出の減少)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出46百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,116百万円の支出(前年同期比937百万円支出の増加)となりました。主な要因は、借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成23年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,138,347	962,020
受取手形及び売掛金	2,521,099	2,459,009
商品及び製品	59,493	68,235
原材料及び貯蔵品	1,582,927	1,638,969
その他	694,389	610,825
貸倒引当金	△105,828	△112,342
流動資産合計	5,890,429	5,626,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,260,413	2,154,426
機械装置及び運搬具(純額)	144,994	152,463
土地	8,979,529	8,979,529
その他(純額)	378,179	362,734
有形固定資産合計	11,763,116	11,649,153
無形固定資産		
のれん	849,383	793,380
その他	61,035	59,751
無形固定資産合計	910,419	853,132
投資その他の資産	1,842,705	1,775,095
固定資産合計	14,516,241	14,277,382
資産合計	20,406,670	19,904,101
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	867,782	1,100,034
短期借入金	2,425,000	1,650,000
未払法人税等	242,661	155,632
引当金	31,753	33,806
その他	3,393,475	3,792,624
流動負債合計	6,960,673	6,732,098
固定負債		
社債	—	80,000
長期借入金	4,319,226	3,938,364
退職給付引当金	1,329,172	1,346,609
役員退職慰労引当金	177,555	177,505
処分場閉鎖費用引当金	289,414	308,787
その他	228,076	215,255
固定負債合計	6,343,445	6,066,522
負債合計	13,304,118	12,798,621

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041,834	14,041,834
利益剰余金	△5,391,444	△5,391,488
自己株式	△1,610,766	△1,610,754
株主資本合計	7,039,624	7,039,591
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,620	36,563
その他の包括利益累計額合計	32,620	36,563
少数株主持分	30,307	29,325
純資産合計	7,102,551	7,105,479
負債純資産合計	20,406,670	19,904,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	14,609,175	15,452,659
売上原価	8,509,862	10,060,465
売上総利益	6,099,313	5,392,193
販売費及び一般管理費	4,966,845	5,125,462
営業利益	1,132,468	266,731
営業外収益		
受取利息	3,382	3,121
受取配当金	6,041	8,797
受取地代家賃	33,639	33,639
その他	17,306	19,626
営業外収益合計	60,370	65,185
営業外費用		
支払利息	97,665	87,537
その他	4,976	7,185
営業外費用合計	102,642	94,723
経常利益	1,090,195	237,193
特別利益		
関係会社株式売却益	5,000	—
貸倒引当金戻入額	2,427	—
賞与引当金戻入額	64,788	—
特別利益合計	72,216	—
特別損失		
固定資産除却損	466	8,113
災害による損失	991	—
リース解約損	485	1,458
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	114,268	—
特別損失合計	116,212	9,571
税金等調整前四半期純利益	1,046,200	227,621
法人税、住民税及び事業税	134,014	105,923
法人税等調整額	104,474	122,400
法人税等合計	238,488	228,323
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	807,711	△702
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,418	△657
四半期純利益又は四半期純損失(△)	806,292	△44



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	807,711	△702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,173	3,943
その他の包括利益合計	△12,173	3,943
四半期包括利益	795,538	3,241
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794,119	3,898
少数株主に係る四半期包括利益	1,418	△657

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,046,200	227,621
減価償却費	200,067	177,430
災害損失	991	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56,625	17,437
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	114,268	—
のれん償却額	56,003	56,003
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,938	7,188
受取利息及び受取配当金	△9,423	△11,919
支払利息	97,665	87,537
固定資産除却損	466	8,113
売上債権の増減額(△は増加)	△104,897	62,089
たな卸資産の増減額(△は増加)	△372,239	△64,784
仕入債務の増減額(△は減少)	△283,049	232,252
その他	242,074	484,500
小計	1,041,817	1,283,469
利息及び配当金の受取額	8,089	11,570
利息の支払額	△116,744	△83,149
災害損失の支払額	—	△12,672
法人税等の支払額	△126,422	△193,820
法人税等の還付額	7,109	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	813,849	1,005,397
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△105,416	△46,048
投資有価証券の取得による支出	—	△35,587
その他	5,960	16,143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,456	△65,493
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,545,000	△775,000
長期借入れによる収入	3,510,000	—
長期借入金の返済による支出	△104,428	△380,862
社債の発行による収入	—	100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△38,673	△54,453
その他	△338	△5,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,440	△1,116,231
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	535,952	△176,326
現金及び現金同等物の期首残高	1,254,960	1,138,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,790,912	962,020

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,681,554	1,322,216	4,605,404	14,609,175	—	14,609,175
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,681,554	1,322,216	4,605,404	14,609,175	—	14,609,175
セグメント利益又は 損失 (△)	2,260,491	117,226	△188,993	2,188,725	△1,056,256	1,132,468

(注) 1. セグメント利益の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用1,056,256千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	H S 事業部門	E S 事業部門	環境資源開発 事業部門	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,868,443	1,341,040	5,243,175	15,452,659	—	15,452,659
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,868,443	1,341,040	5,243,175	15,452,659	—	15,452,659
セグメント利益又は 損失 (△)	1,639,485	△12,064	△270,473	1,356,947	△1,090,216	266,731

(注) 1. セグメント利益の調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用1,090,216千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

部門別連結売上高

(単位：千円)

品目	期別	数量 単位	前第2四半期 連結累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日		当第2四半期 連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日		比較増減	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額
			白蟻防除施工	千坪	455	2,567,822	424	2,351,921
床下・天井裏換気システム	—	—	1,887,125	—	1,304,446	—	△ 582,679	
基礎補修・補強工事	軒	2,838	1,205,852	1,806	765,875	△ 1,032	△ 439,977	
家屋補強システム	軒	294	232,233	247	193,089	△ 47	△ 39,144	
太陽光発電システム	kw	3,547	1,215,958	6,821	2,456,028	3,273	1,240,069	
その他	—	—	1,572,561	—	1,797,082	—	224,521	
H S 事業部門計	—	—	8,681,554	—	8,868,443	—	186,888	
防錆機器取付施工	本	241	326,037	223	224,655	△ 18	△ 101,381	
建物給排水補修施工	—	—	391,799	—	412,462	—	20,663	
建物防水塗装補修施工	—	—	257,588	—	208,776	—	△ 48,811	
太陽光発電システム	kw	3	1,690	390	178,192	387	176,502	
その他	—	—	345,100	—	316,952	—	△ 28,148	
E S 事業部門計	—	—	1,322,216	—	1,341,040	—	18,824	
廃プラ加工処理	t	143,654	2,488,103	170,451	2,912,627	26,797	424,524	
有機廃液処理	t	47,774	694,546	56,769	822,254	8,994	127,708	
売電収入	—	—	690,953	—	802,173	—	111,219	
埋立処理	—	—	459,095	—	394,130	—	△ 64,965	
その他	—	—	272,705	—	311,989	—	39,284	
環境資源開発事業部門計	—	—	4,605,404	—	5,243,175	—	637,770	
売上高計	—	—	14,609,175	—	15,452,659	—	843,483	

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。